



Today's **media,** Taro Yamada Tomorrow's demands

Hanako Yamada

Driving the future of
modern media operations

STIBODX



マルチメディア・ハイブリッド向けに構築された Cue media enterprise platform

メディア業界は、ここ数十年で最も大きな構造変化の局面を迎えています。オーディエンスは、フォーマット、チャンネル、デバイスの違いを意識することなくストーリーに触れています。ニュースルームは、ブランドや市場をまたいで統合が進んでいます。そしてAIは、実験的な試みの段階から、業務上欠かせない存在へと変わりました。この環境で成長を続ける組織には、ある共通点があります。それは、統合プラットフォームを基盤として事業を運営していることです。

Stibo DXが提供するCue media enterprise platformが、まさにその基盤です。The New York Times、The Economist、Mediahuisをはじめ、世界中の800以上のブランドで35,000人超のユーザーに信頼されているCueプラットフォームは、マルチメディア・ハイブリッドニュースルーム向けに特化して構築されています。コンテンツ制作、アセット管理、印刷物生産、AIオーケストレーション、編集コラボレーションを、単一で一貫した運用環境に統合します。その結果、出版スピードの向上、運用コストの削減、そして成長に向けた戦略的な柔軟性を実現します。

エンタープライズ規模のマルチメディア制作

Cue media enterprise platformは、現代のあらゆるメディアフォーマットに対応できるよう設計されています。貴社のニュースルームが速報ニュース、長編調査記事、ライブレポート、日々のソーシャルメディア向けストーリーテリングなど、どのようなコンテンツを制作していても、Cueプラットフォームはあらゆるフォーマットでの制作・管理・配信に必要なネイティブツールを提供します。Cueは、マルチモーダルなコンテンツ制作へのプラットフォームレベルでのコミットメントであり、統合されたニュースルームがすべてのストーリーを最もインパクトのある形で届けられるようにすると同時に、メディア技術スタックの断片化を解消します。

Cue media enterprise platform上でメディア業務を運用することによるオペレーション面のメリット

ワークフロー自動化

メタデータ拡充、バリエーションの作成、マルチチャンネル配信といった反復作業を自動化します。

アセットの一元管理

すべてのデジタルアセットを単一のリポジトリに集約し、あらゆるブランドやチームからアクセスできるようにします。

マルチチャンネル配信

1つの統合ワークフローから、あらゆるデジタルエンドポイント、印刷版、ソーシャルチャンネルにコンテンツを配信できます。

ストーリー中心のプランニング

単一の共有環境上で、チャンネルではなくストーリーを軸に制作を組織します。

チーム間の連携

デスク、拠点、ブランド、外部寄稿者などのある編集上のサイロを取り払い、連携を促進します。

スケーラブルなアーキテクチャ

新しいブランド、チーム、チャンネルを、カスタム開発ではなく設定によって追加できます。

マルチメディア・ハイブリッド向けに構築された Cue media enterprise platform

Cue製品スイート

Cue media enterprise platformは、現代のメディア業務の異なる側面を担う5つの統合製品で構成されており、それぞれがシームレスに連携して機能します。

スケーラブルなコンテンツ運用を支えるCue Content Store

マルチメディア・ハイブリッドな運用のリズムを反映するように構築された、ヘッドレス型のマルチチャンネルCMSです。従来型コンテンツ管理の硬直した制約を乗り越え、チャンネルではなくストーリーを制作の基本単位として捉えます。単一の編集環境からすべてのチャンネル向けコンテンツを制作し、モノリシックなシステムから脱却できます。

自動化と編集フローが融合するCue Autopilot

Cueプラットフォームにネイティブに組み込まれたAIオーケストレーションレイヤーです。生成AIを編集ワークフローに直接組み込み、すべての段階で完全なトレーサビリティと人による承認を確保します。反復的な制作業務を自動化すると同時に、単一のマネージドなテクノロジー基盤を通じて、主要なAIサービスを統合します。

ニュースルームコラボレーションが集約される場所 Cue Hive

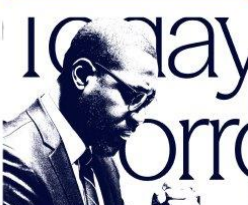
リアルタイムな編集計画と調整の中核となるハブ。コンテキストを切り替えることなく、1つのコラボレーションワークスペース上でストーリーの企画、アイデア出し、管理を行うことができます。タスク、締め切り、公開戦略をチャンネルではなくストーリーを中心に管理することで、コラボレーションをプラットフォームの構造そのものに組み込みます。

Cue Dam あらゆるアセットをチャンスに変える

アセットの取り込みとエンリッチメントから、権利管理、マルチチャンネル配信まで、アセットのライフサイクル全体をCueプラットフォーム内で一元管理します。AIを活用した自動タグ付けにより、手作業を削減し、単一の統合アセットリポジトリを通じてブランド間でのアセットの再利用を可能にします。これにより、アーカイブは「負債」から、生きた収益化可能な資産へと生まれ変わります。

Cue Print 未来のニーズに応える印刷業務へ最適化

マルチメディア・ハイブリッドな組織が印刷業務の持続可能性と効率性を高められるよう支援します。デジタルコンテンツと同じ統一されたワークフロー内で印刷版を制作することで、インテリジェントな自動化と統合されたレイアウトツールにより、プリプレスコストを削減します。これにより、印刷業務は持続可能で効率的なだけでなく、より広範なコンテンツエコシステムともつながり続けることができます。



統合型コンテンツ管理の基盤

現代のダイナミックなメディア環境においてメディア企業が競争力を保つためには、業務の統合・集約が鍵を握りません。これは、質の高いコンテンツを効率的に配信し、市場の変化に速やかに対応するとともに、進化し続ける視聴者のニーズに応えるために画期的な策を打ち出す上で必要不可欠なことです。Cue media enterprise platformの中核となるコンテンツ管理ソリューションとして、Cue Content Storeは、増加し続けるチャンネルやフォーマット全体にわたるコンテンツの作成と配信を効率化するために特別に設計されています。

コスト効率の高い運営を促進

業務を統合し、複数のシステムへの依存を軽減。Cue Content Storeは、複雑なワークフローを最適化し、ブランドやタイトルをまたいだコンテンツの再利用性を高めることで、大幅なコスト削減を実現します。これにより、すべてのリソースが最大限に活用され、収益に直接貢献します。

スケーラビリティと拡張性の確保

迅速かつスムーズにスケールできるよう設計されたCue Content Storeなら、必要なときにいつでもビジネスを拡大できます。このプラットフォームなら、新しいブランドやタイトル、チャンネルを簡単に追加したり、将来の成長を支える新しいツールやシステムを統合したりでき、ビジネスに柔軟な基盤を提供します。

編集作業の生産性向上

Cue Content Storeは、不可欠なツールとリソースを統合することで、編集プロセスをシンプルにします。ジャーナリストや編集者たちは、異なるシステムを切り替える必要がないため、エラーの減少や時間の節約ができ、生産性が向上します。これにより、チームは質の高い魅力的なコンテンツの制作に集中できます。

真のマルチメディアストーリーテリングを実現

マルチメディアコンテンツの制作とマルチチャンネル配信を加速します。Cue Content Storeにより、コンテンツを一度作成すれば、複数のバリエーションにシームレスに変換できます。独自の「ストーリーファースト」アプローチにより、あらゆるチャンネルへの広範な配信を実現し、可能な限り幅広いオーディエンスにリーチすることで、すべてのストーリーのインパクトを最大化します。

主な機能

ストーリー重視で統一性のあるコンテンツ¶¶

モジュール型のストーリーラインエディターにより、ストーリーを重視する「ストーリーファースト」のアプローチでのコンテンツ作成が可能。この独自のストーリー構造により、コンテンツを一度作成するだけで、ブランド、タイトル、地域をまたいださまざまなエンドポイント向けに複数のバリエーションへ自動変換でき、配信ワークフローが簡素化されます。¶¶

¶¶ スケーラビリティと拡張性の確保¶¶

ジャーナリストがベストプラクティスに従えるよう支援し、欠かせないクリエイティブ要素を取り入れられるようにする。カスタマイズ可能なコンテンツタイププレート。これらのテンプレートは、コンテンツの構造化に役立ち。¶¶

作成プロセスを通じて、マルチチャンネル配信とマルチモーダル制作を効率的に管理できるようにすると同時に、編集の一貫性を確保します。

シームレスな共同編集

ストーリーのアイディアの創出から配信まで、リアルタイムでの共同作業がシームレスに。統合されたSlackモジュール、またはCue media enterprise platformにネイティブに組み込まれたコラボレーション兼プランニングツールであるCue Hiveを通じて、同僚に通知できます。アセットの一元管理もご希望ですか？Cue Damをデジタルアセット管理システムとしてご検討ください。

強力な統合

Cue Dam、サードパーティの画像データベース、通信社サービスとシームレスに接続することで、デジタルアセットに簡単にアクセスできます。Cue Autopilotを追加することで、AI機能が既存のワークフローにネイティブに統合され、トレーサビリティ、制御、セキュリティが確保されます。

他のメディア企業がCueを選ぶ理由

Cue Content Storeはメディア企業専用に構築されており、編集ワークフローを統合するプラットフォームを求める企業に対して、ROIの向上、OpExのコントロール、コンテンツスループットの最適化を実現する戦略的な優位性を提供します。

1. エンタープライズ向けのヘッドレスアーキテクチャ

メディア企業向けに設計されたヘッドレスCMSとして、さまざまなフロントエンドソリューションとの統合や、あらゆるエンドポイントへのコンテンツ配信に柔軟に対応し、ビジネスとコンテンツ戦略の将来性を保証します

2. 組織内で分散したクリエイティブ業務も集中管理

サイロ化を生み出す分断されたシステムとは異なり、Cue Content Storeは編集業務のための集中型プラットフォームを提供しつつ、組織全体のクリエイティブチームの能力向上を支援します。ユーザーと権限は、それぞれの編集業務の構造に応じて設定が可能です。

3. 組織内で分散したクリエイティブ業務も集中管理

ツールを1つのインターフェースに統合することで、複数のシステムを管理する際の非効率性が解消されます。環境の一元化により生産性が向上し、総保有コストの削減にもつながります。

4. 継承と管理

独自の継承機能により、変更が生じた際に自動で更新されるストーリー要素と、手動での調整が必要なストーリー要素を正確に管理できるため、大規模な運用においても質と一貫性が確保されます。

実装の要件

組織内でCue Content Storeを導入するには、以下の要件を満たす必要があります。

Cueのバージョン

最新のリリース

ライセンスモデル

月額のパaaSまたはSaaS
料金

プラットフォームの利用環境

クラウド環境とオンプレミス
環境の両方に対応

あらゆるアセットをチャンスに変える

管理されていないデジタルアセットに伴う手間とコストを解消します。Cue Damを導入することで、Cue media enterprise platform全体にわたるすべてのデジタルアセットを一元管理し、自動化によって品質と効率を向上させます。

強力なアセット管理がもたらす価値

デジタルアセットが複数のストレージ場所に分散し、メタデータに一貫性がなく、時間のかかる手作業や煩雑な選択ワークフローが発生する——これは、統合されたデジタルアセット管理がない場合によく見られる状況です。Cue Damを中央集約型アセットリポジトリとして導入することが、これらの課題に対する解決策となります。Cue Damは、メディア制作専用に設計された専門的なデジタルアセット管理ソリューションであり、業界にとって不可欠な基本機能のみを搭載しています。それ以上でもそれ以下でもありません。

Cue Damを使用することで、品質要件を確実に満たし、アセットに最新のメタデータを付与するプロセスを効率的に自動化できます。その結果、業務効率と全体的な収益性が大きく向上します。これにより、ジャーナリストや編集者は、使いやすい統合ユーザー環境の中で、複数のシステムを行き来してデジタルアセットに手動で操作を適用するという複雑な作業に煩わされることなく、高品質なコンテンツの作成に集中できるようになります。

品質

強力で使いやすい検索・アセット取得機能により、編集スタッフは高品質で魅力的なコンテンツの作成に集中できます。

コンプライアンス

透明性が高く、強力な著作権および利用管理機能は、コンプライアンスやその他の法的問題に対する防御策となります。

収益性

自動メタデータ拡充機能との統合により、手作業による介入やメンテナンスが削減され、効率性と収益性が向上します。

統合ワークフロー

Cue media enterprise platformにシームレスに統合されているため、アセット管理は編集ワークフローの不可欠な一部となり、使用状況や料金に関する情報も透明化されます。



ニュースルームの質を高め、リソースを解放する

品質チェック

アセットプロバイダーが満たすべき特定の品質要件に基づき、メディアファイルはインポート時にチェックされ、再確認が必要なアセットは自動的に隔離されます。

チェック対象には、必須メタデータ、ファイル形式、ファイルサイズ、重複ファイルなどを設定できます。

自動メタデータ拡充

利用しているAIプロバイダーとの連携により、メタデータはCue Damへのインポート時にアセットに自動的に適用されます。

メタデータ拡充を自動化することで、ニュースルームのリソースが解放され、メタデータの一貫性が向上します。

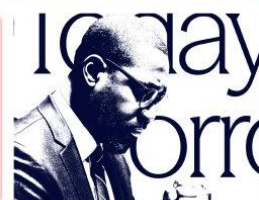
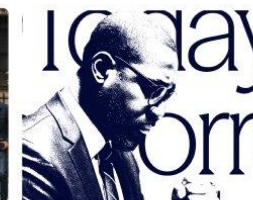
収益性

すべてのアセットは単一のビューで確認でき、強力な検索およびフィルタリングツールにより、簡単かつ効率的に選択できます。

過去の使用状況や、さまざまなファイルバリエーションに関する情報が表示されるため、最適なバリエーションを選択し、重複利用を避けることができます。

すべてのコンテンツクリエイターのための統合プラットフォーム

Cue Damをアセットの中央ハブとして使用することで、オフサイトとオンサイトの両方の編集スタッフが、Cue Damのリアルタイム更新機能とバージョン管理機能を利用して、ストーリーの作成、充実、編集においてシームレスに共同作業を行うことができます。面倒なファイル転送や複雑なメールのやり取りの時代は終わりです。Cue Damを使えば、コンテンツ制作に関わるすべての人が、インターネット接続さえあればどこからでも最新のアセットやアップデートにアクセスできます。



ニュースルームにCue Damを導入する際に検討すべきポイント

1.統合プラットフォーム

Cue Damは、設定、カスタムアクション、そして強力なCue Dam APIを介した自動メタデータ拡充のためのサードパーティサービスとの統合により、お客様の具体的なユースケースやコンテキストに合わせて拡張できます。

2.統合型またはスタンドアロン型

Cue Damは、Cue media enterprise platform全体の統合された一部として、Cue PrintをサポートするDamとして、またはスタンドアロンソリューションとして実装できます。

3.エンタープライズアクセス制御

Cue Damは、Cueユーザーマネージャーを介してIdP/IAMシステムに直接接続するため、すべてのユーザーとグループを一元的に管理できます。権限は、編集組織に合わせて設定できます。Cue Damの利用を開始するには、新規ユーザーを社内IdPに作成し、関連するグループに追加するだけで済みます。

4.幅広い利用環境

Cue Damは、Stibo DX Cloudおよび/またはオンプレミス環境でCue Aurum以降を実行しているインストールで利用可能です。

導入の要件

組織内でCue Damを導入するには、以下の要件を満たす必要があります。

Cueのバージョン

Cue Aurum以降

ライセンスモデル

月額サブスクリプション
料金

プラットフォームの利用環境

クラウドおよびオンプレミスを含むすべての
Cueインストール

Cue Damの詳細については、Stibo DXまでお問い合わせください

- 当社製品をご利用のお客様：カスタマーサクセスマネージャーまでお問い合わせください
- Cueを初めてご利用のお客様：Stibo DX (info@stibodx.com) までお問い合わせください

プラットフォーム全体にネイティブに組み込まれたAI機能で、チームを強化し、コンテンツ出力を高める

よりスマートかつスピーディーなニュースルームを目指して

急速に進化するメディア環境では、効率性、統制、革新が特に重要となります。Cue AutopilotはCue media enterprise platformの基盤となるAIレイヤーであり、ニュースルームアシスタントとして機能するように設計されています。AIを活用して、コンテンツ作成とマルチチャネル配信のワークフローを強化し、自動化します。AIサービスを展開するための枠組みとして、安全かつ統合的でスケーラブルなフレームワークを提供し、組織が最先端の技術を取り入れながら、完全に自らの意思に基づいた編集が行える環境を確保します。

コストの透明性

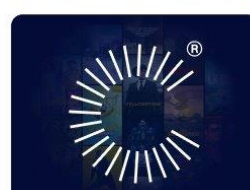
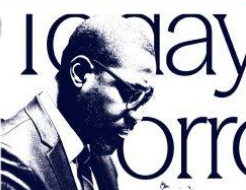
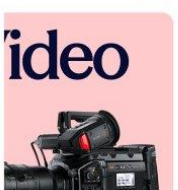
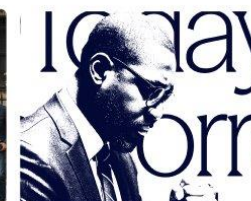
Cue Autopilotは、複数のサービスにまたがる料金を1つの予測可能なコストに集約することで、AIコストを合理化します。これにより、予算管理が簡素化され、財務の透明性が高まり、複数のサブスクリプションを管理する手間が省かれます。

拡張性と将来性を兼ね備えた設計

AutopilotはCueの中央AIハブとして機能し、新しいツールをスケーラブルに展開・保守できるようにします。また、プロキシのレイヤーとして機能し、開発中のさまざまなAIモデルを最適化・調達します。これにより、技術が最新の状態に保たれ、継続的かつリソース集約的な更新の必要がなくなります。

統合された安全なワークフロー

自動メタデータ拡充機能との統合により、手作業による介入やメンテナンスが削減され、効率性と収益性が向上します。





主な機能

ストーリーラインの自動化

AI搭載アシスタントをCueのストーリーラインエディターインターフェースに直接組み込みます。ワークフローのイベントに基づいて予め定義されたプロンプトを手動または自動で作動させ、印刷やデジタルなどのさまざまなチャネル用に、ストーリーのバリエーションを作成します。

設定可能なAIアクション

ニュースルームの特定のニーズに合わせて、AIアクションのカスタマイズが可能です。役割、ワークフローのステージ、出版物、またはユーザーごとに予め定義されるプロンプトを設定することで、AIが生成するアウトプットを、各ストーリーテリングのアプローチ、トーン・オブ・ボイス、編集の基準に合致させることができます。

トレーサビリティと編集管理

コンテンツを完全に制御できます。すべてのAIアクションは使用状況を監視するために追跡・記録され、AI生成コンテンツは公開前に人間によるレビューと承認を受けます。

AIの一元管理

モデルファーストからワークフローファーストへ移行します。Cue内のすべてのAIサービスを束ねる単一の管理ハブとして機能します。

抽象化レイヤーとして機能するCue Autopilotは、新しい大規模言語モデル（LLM）が利用可能になった際に、それらを一元的に管理し、予防的なメンテナンスとシームレスな統合を可能にします。

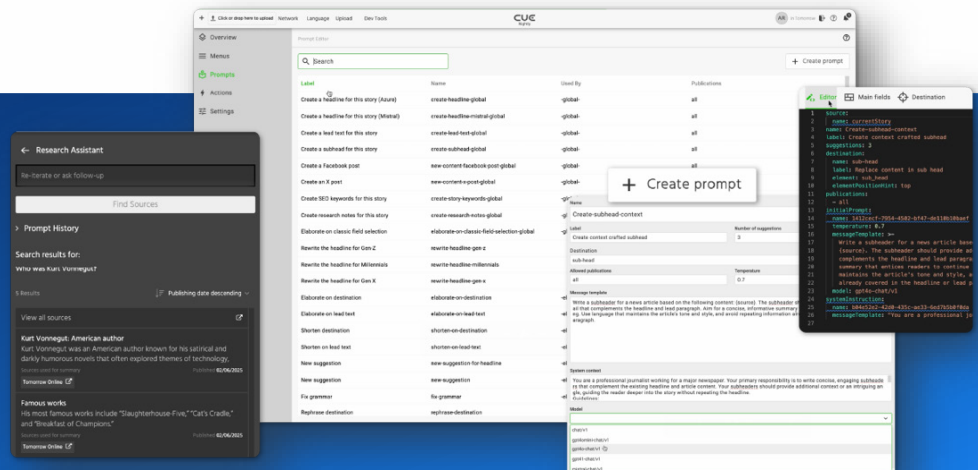
AIの一元管理

Cue Autopilotは繰り返しの多い作業を自動化し、編集チームがより価値の高い業務に集中できるようにします。Cue media enterprise platform全体を支えるCue Autopilotには、次のような主要機能があります。

コンテンツ作成のサポート（ヘッドライン作成、メタデータ作成、ストーリーラインエディターでの翻訳など）

- Print Automation
- プロンプトチェーンおよびプロンプトエディター
- リサーチのサポート
- コンテンツのバリエーション生成
- AI画像解析
- セマンティックタグ付け

Cueインターフェースに直接組み込まれたCue Autopilotは、業務プロセスを効率化し、コンテンツ公開までの時間を大幅に短縮します。





Cue Autopilot

他のニュースメディア企業がCue Autopilotを選ぶ理由

Cue Autopilotは、単に統合対象のAIツールのひとつにとどまらず、現代のマルチメディアニュースルーム向けに設計された戦略的なプラットフォームです。

完全に統合された体験

ワークフローを妨げるスタンドアロンツールとは異なり、Cue AutopilotはCueに直接組み込まれており、シームレスで効率的かつ安全なユーザーエクスペリエンスを提供します。

他にはないカスタマイズ機能

全ブランドにわたって単一のAIソリューションを強制するのではなく、その限界を超えましょう。Cue Autopilotを使えば、ブランドやニュースルームごとに固有の編集方針や基準を反映したプロンプトやワークフローを設定でき、ガバナンスやメンテナンスも一元的に管理できます。Cueプラットフォーム全体で適用できるモデルの選択肢にも、プロンプトの種類にも、制限はありません。

確実なコンプライアンスの遵守と管理

人間による承認を必須とし、包括的な追跡を行うことにより、コンテンツを完全に管理できる状態が保たれ、ジャーナリズムの信頼性が確保されます。

スケーラビリティを重視した設計

このプラットフォームは、AIの進化に合わせて発展していくよう設計されており、組織はコアシステムを全面的に作り替えることなく、新しいテクノロジーを取り入れ、統合できます。

導入の要件

貴社でCue Autopilotを導入するには、以下の要件を満たす必要があります。

詳細については、カスタマーサクセスマネージャーまたはStibo DXの営業までお問い合わせください。

Cueのバージョン

Capivara以降

ライセンスモデル

SaaS製品の月額料金

プラットフォームの利用環境

すべてのStibo DXクラウドおよびオンプレミスでのインストール

ニュースルームコラボレーションが 集約される場所

急速に変化する現代メディアの環境において、スピードと機敏さは、市場のリーダーとその他の企業を分ける決定的な要素となります。しかし、多くの組織では、業務の縦割り構造や断片化されたワークフローが、依然として成長を阻む大きな障壁となっています。

Cue Hiveは、これらの障壁を取り除くように設計されており、コンテンツオペレーション全体を統括する戦略的な司令塔として機能します。

Cue Hiveは、単一のエンタープライズグレードのプラットフォーム内でチームを統合することで、効率性の低下や公開までの時間の遅延といった重大な課題に対処します。

これにより、リソースの最適化、収益戦略の加速、そして変化する市場ニーズに対応するためのテクノロジースタックの将来性確保に必要な、一元的な制御が可能になります。

取材・報道を摩擦なくオーケストレーション

断片化されたワークフローは、ジャーナリストに、ばらばらの計画ツール、コミュニケーションアプリ、コンテンツ管理システムを絶えず切り替えることを強めます。

Cue Hiveは、生産が行われる場所に計画を直接組み込むことで、このようなコンテキストの切り替えをなくします。速報ニュースの展開を計画する場合でも、長期にわたる調査報道を管理する場合でも、編集者と記者は共有されたリアルタイム環境で作業します。

このシームレスな統合により、プラットフォームから離れることなく、すべてのアサインメント、締め切り、アセットが可視化され、すぐにアクションを取ることができます。

すべてのコントリビューターのための統一されたスペース

現代のストーリーテリングは、専属記者からフリーランス、専門家まで、多様な声のネットワークに依存しています。

Cue Hiveは、ニュースルームと外部世界との間のギャップを埋め、フリーランサー向けに安全で統合されたワークフローを提供します。フリーランスへのタスク割り当て、特派員からの提出物のレビュー、法務部やグラフィックチームなどの社内部門との連携など、すべてをガバナンスが効いた単一のプラットフォーム上で完結できます。

これにより、すべての関係者が適切なレベルのアクセス権限と背景情報を確実に得ることができ、企画提案から出版までのプロセスを加速させることができます。

マルチメディア・ハイブリッドニュースルーム向けに構築

メディア企業の統合が進み、フォーマットが収束していくにつれ、報道機関には、強力であると同時に適応性の高いツールが求められるようになっていきます。

Cue Hiveは、特定の編集ニーズに合わせてカスタマイズ可能なインターフェースを備え、複雑なマルチブランド運用をサポートします。アングル生成やブリーフ作成を支援する統合型AIエージェントから、多様なマルチメディアフォーマットへの強力なサポートまで、Cue Hiveは拡張性を考慮して設計されています。CTOが必要とする運用上の明確さと、ジャーナリストが求める直感的な操作性を提供し、変化の激しい時代においてコンテンツ戦略の将来性を確保します。

Cue Hiveへの投資は、組織のオペレーション成熟度と長期的な持続可能性への投資です。

デジタル収益を加速させる

01

効率化されたワークフローは、出版サイクルの短縮に直接的に結びつきます。アイデア出しから公開までの時間を短縮することで、チームはより早く視聴者の注目を集め、価値の高いコンテンツをより効果的に収益化できるようになります。

運用コスト効率

02

複数の異なるツールを置き換えることで、断片化されたテックスタックを統合します。これにより、ライセンス費用とメンテナンス費用が削減されるとともに、統一されたインターフェースを通じて従業員の生産性が大幅に向上します。

将来を見据えた拡張性

03

長期的な利用を見据えて設計されたアーキテクチャを採用します。Cue Hiveは新しいビジネスモデルや市場のニーズに適応し、頻繁で費用のかかるシステム改修を必要とせず、組織の俊敏性を維持します。

実装

01 評価

お客様の現在のワークフローを分析し、最適化すべき主要な領域を特定します。

02 統合

当社のチームがお客様の既存システムとの技術的な接続を担当し、シームレスなデータフローを保証します。

03 導入

現代のデジタルチーム向けに設計されたインターフェースにより、トレーニングは最小限で済み、ほぼ即座に価値を実感できます。

基幹システムの変更は重要な決断ですが、必ずしも苦痛を伴う必要はありません。

コンテンツオペレーションは、ビジネスの原動力です。デジタル化の未来に対応できるよう、適切に調整されていることを確認してください。

Cue Hiveが貴社の次四半期の効率化目標にどのように貢献できるかについて話し合うため、今すぐ戦略コンサルティングをご予約ください。

詳細については、www.stibodx.com/cue-hive をご覧いただくか、info@stibodx.com までお問い合わせください

これからの需要に応える印刷業務の最適化

SaaSソリューションとして提供されるCue PrintおよびCue Print Automationは、編集の効率を向上させ、印刷物の制作コストとシステムのメンテナンスコストを削減することで、印刷事業の収益性を維持します。

Cue Printがもたらす価値

Cueで印刷を自動化することにより、重要な収益源である印刷の効率が向上します。Cue PrintとCue Print Automationは、既存のCue media enterprise platformにシームレスに統合されるため、印刷業務がワークフロー全体の一部として自然な形で組み込まれるようになります。これにより編集業務が効率化され、手間をかけず、高い生産性をもって、印刷物やデジタルコンテンツを制作することが可能となります。また、ネイティブのCueソリューションとして、ニュースルームのスピードを高め、コストを削減。スタッフが日々の業務で新たなテクノロジーを扱う必要がなく、ブランドのデザイン基準を損なうこともありません。これは印刷業務の効率化につながるだけでなく、新しいフォーマットや出版物によって製品ポートフォリオを拡大し、より幅広いオーディエンスにリーチする機会をもたらします。

メンテナンスの最適化

レガシーシステムやオンプレミスのインフラストラクチャのメンテナンスには費用と時間がかかり、専門的なスキルが求められることも多々あります。Cue Printをご利用いただいた場合、Stibo DXのエキスパートがサービスの運用を担い、リスクを軽減して事業の継続性を確保します。これにより、お客様には、コアビジネスや成長を促進する重要なプロジェクトに注力していただけます。

コストの削減

印刷デザインの自動化とITアウトソーシングの活用により、コストを削減して効率性をアップ。高額なオンプレミス型インフラの導入が不要になります。

定期的に更新

システムを常に最新の状態に保つため、新機能を活用できるだけでなく、リスクを最小限に抑え、事業の継続性を確保できます。

使い始めも簡単

システムを常に最新の状態に保つため、新機能を活用できるだけでなく、リスクを最小限に抑え、事業の継続性を確保できます。

どこからでも安全にアクセス

いつでもどこでも、安全かつスムーズに作業ができます。

コンテンツクリエイターとページデザイナーのための統合型プラットフォーム

印刷物の制作を最適化するオールインワンのプラットフォーム

Cue Printは何十年にもわたり、印刷物の制作ツールとして、世界中の数多くのニュースルームで活用されてきました。全国紙から地方紙、地域紙に至るまで、印刷物やデジタル出版物のエンドツーエンドの出版を効率的に行うために必要な機能を提供しています。Cue Print Automationは、記事を印刷用に自動的に調整し、ページに合わせて配置することで効率性をさらに高めるだけでなく、各地域・各版に固有の要件にも対応します。Cueのコンテンツ管理および制作機能を活用することで、編集チームは単一の環境内で一貫性を維持しながら、複数のフォーマット、チャネル、デバイスにわたり、現在のオーディエンスや今後獲得したいオーディエンス向けのコンテンツを簡単に作成・調整・配信できます。

Cue Print Automationによる効率性の向上

自動化の機能は、既存の制作環境に「後から付け足す」のではなく、本来から備わっているのが理想です。Cue Print Automationは、自動化のステップをネイティブの機能としてワークフローに自然に組み込みます。アルゴリズムとテンプレート、そして柔軟に適応するレイアウトにより、コンテンツはカテゴリと優先度に基づいて自動的に配置されます。記事のレイアウトは決められたルールに従って自動的に調整されますが、ページの構成要素、広告、手動で配置された記事については、アルゴリズムに優先されます。Cue Print Automationでは、実績のある柔軟なデザインを基盤としたアルゴリズムが一定のルールに基づいて自動化を行うため、完全に予測可能で、デザインチームの管理も十分に及びます。

常に最新の状態かつアクセスが可能

Cue Printのソリューションは、新機能を活用できるよう、システムを常に最新の状態に保ちます。クラウドベースのサービスのため安全にアクセスでき、時と場所を問わずシームレスに作業ができます。

独自のビジネスケースを作成

Cue Printにより、印刷物の制作コストは80%、印刷システムのメンテナンスコストは90%の削減が期待できます。Stibo DXでは、各社のコストとリソースに基づいた独自のビジネスケースの作成が可能です。以下に例を紹介します。

CUE Print(自動化を含む)(EUR)	月間/数値(EUR)	年間(EUR)
現在の印刷制作コスト	200,000	2,400,000
自動化効率(%)	80%	
新しい印刷制作コスト	40,000	480,000
自動化によるコスト削減	160,000	1,920,000
運用開始から3年間のコスト削減額(累積)		5,360,000

*) すべての数値は、ユーロ建ての概算値です。最低契約期間：運用開始から36か月間。

この試算は、現在のフルタイム換算の従業員(FTE) 50名、1人あたりの平均年間コストを48,000ユーロとしたものです。また、1ページあたりの制作時間を10分、導入期間を6か月とし、本格的な制作開始までさらに6か月を要すると想定して計算されています。導入の前提条件：すべての出版物においてレイアウトデザインが標準化されていること。また、全巻にわたって統合の仕方が統一されていること。

CUE Printの概要

Cue PrintにはCue Print Automationのソフトウェアも含まれており、インストールから運用、サポートまで、すべてStibo DXが行います（費用は月額料金に含まれています）。

パッケージには何が含まれていますか？

1.環境のセットアップ

Cue PrintにはCue Print Automationが含まれており、両ソリューションのソフトウェアライセンスが提供されます。クラウドサービス環境のセットアップもすべてStibo DXが行うため、独自のインフラストラクチャの入手・メンテナンスは不要です。

導入の手順は簡単です。まず、現在の印刷デザインを分析し、Cue Print Automationを効率的に導入できるテーマを特定します。

2.スムーズなオンボーディングとロールアウト

Stibo DXは、お客様の製品のデザインとレイアウトに合わせて印刷物の設定を行います。Cue Highwaysのワークフローで定められた、信頼性の高い標準を採用することで、研修が簡素化されます。これにより、コンフィグレーションに関する詳細な研修が不要となり、サービス導入に必要なコストと時間の削減につながります。

研修では、スーパーユーザーがCue Highwaysのベストプラクティスのワークフローについて学び、Cue Printが提供する効率性を最大限に活用できるよう「トレーナー育成」方式を採用しています。この研修では、印刷物の制作にあたり、ページの構成、広告の配置、および制作の進捗管理にCue PrintおよびCue Flatplannerを使用する方法を説明しています。また、ページのデザインと自動化を行うCue DesignerおよびCue Print Automationを用いた印刷デザインについても触れています。これは、準備を完全に整えた上で、スムーズにローンチを迎えられるようにすることが目的です。

Stibo DXは、お客様のプロジェクトチームと協力しながら運用開始の計画を立て、導入の準備を進めます。また、スムーズに運用を開始できるよう、印刷物の初版の発行時および発行直後には、お客様のプロジェクトチームに対し、導入にあたってのサポートを現場で直接提供します。

3.最適化の継続と24時間体制のサポート

サービス契約の一環として、Stibo DXのプロフェッショナルサービスチームがお客様の出版物のデザインの改良や修正をサポートするための一定の時間が割り当てられています。

製品の設定は、高度な自動化機能を確保するため、必要に応じて更新が可能です。また、新製品はアドオンのパッケージとして立ち上げることができます。継続的なサポートと調整の一環として、タグ、形状、テンプレートの細かな変更も行われます。

Stibo DXは、サービスの可用性を高く保つために、そのパフォーマンスを継続的にモニタリング、予防措置を講じています。

Stibo DXのサポートチームは24時間年中無休で対応しているため、サポートが必要な際にはいつでも技術分野の専門家にご相談いただけます。



SaaSを利用したセキュアなサービス提供

お客様のCue Printのインストール環境は、最新バージョンのCue Printを実行できるよう定期的に更新され、常に最新かつ安全な状態に保たれます。これにより、新しく追加された最新の機能を利用し、ソフトウェアを最大限に活用していただけます。

Stibo DXは、サービスレベル契約（SLA）に基づき、Cue Printのアプリケーションの基盤となる技術スタックの運用とパフォーマンスについて全責任を負います。

また、Stibo DXは開発・セキュリティ・運用のプロセス、およびISO/IEC270012013の規格の認証を厳格に遵守し、AWSクラウドプラットフォームとそのセキュリティレイヤーに基づいた、グローバルに利用可能なサービスを提供します。

導入の要件

組織へのCue Printを導入にあたり、以下の要件を満たす必要があります。

ライセンスモデル

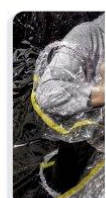
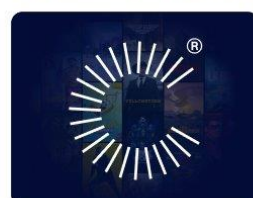
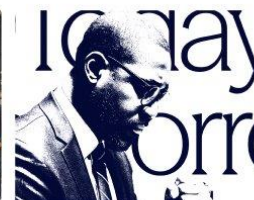
月額サブスクリプション料金

プラットフォームの利用環境

Cue Content Store バージョン8以降（クラウド環境およびオンプレミス環境を含む）

Cue Printの詳細については、Stibo DXまでお問い合わせください

- 当社製品をご利用のお客様：カスタマーサクセスマネージャーまでお問い合わせください
- Cueを初めてご利用のお客様：Stibo DX (info@stibodx.com) までお問い合わせください



需要に対応しながら、持続可能な印刷業務を

1. ビジネス目標をより効果的に達成するためにワークフローを最適化

プロジェクトの初期から現在までの間に、ビジョンや目標が変化していることもあるでしょう。ワークフロー最適化のパッケージにより、ニュースルームで行われる業務を、全社的なビジョンと目標に合致させることができます。

2. 具体的な改善策の提案

アンケートと現場調査の結果に基づき、ニュースルームや業務プロセスに合わせてカスタマイズされた推奨事項が提示されます。

3. 現在のCueプラットフォームにおいて

ニュースルームの印刷のパフォーマンスを飛躍的に向上

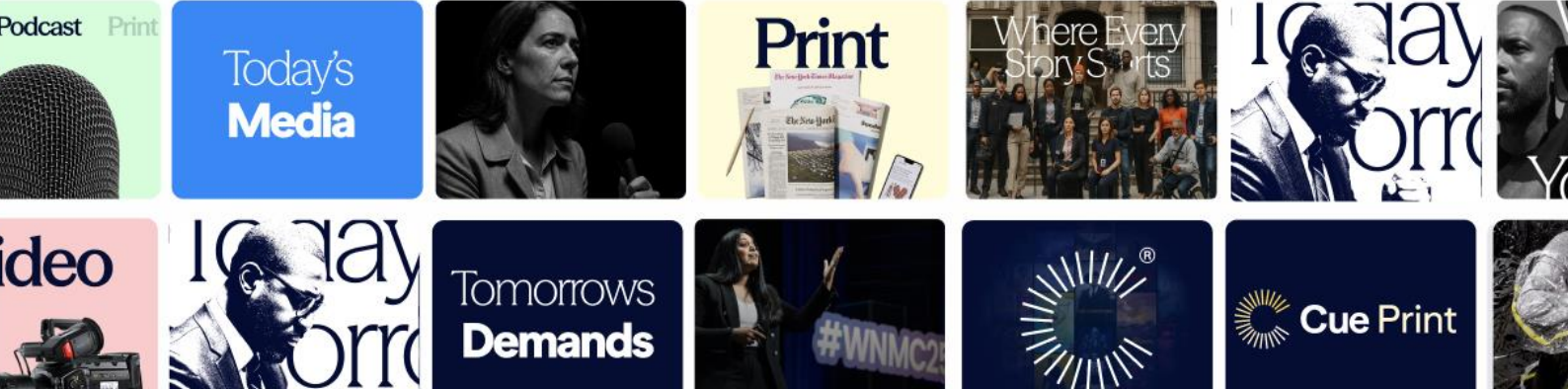
ニュースルームをパワーアップさせるために、どのようにCue Printを活用できるかについて、ぜひカスタマーサクセスマネージャーにご相談ください。

4. 活用しきれていない機能を特定

現在お使いのCueのバージョンに備わっている機能を活用することで、日々のワークフローを簡素化し、デジタルトランスフォーメーションを加速させることができます。

4. スペシャリストによるガイダンス

ニュースルームを最適な状態にするため、専任のワークフローコンサルタントの知見を活用できます。





Cue Print Automation

困難な時代において、生産の効率性を高め、収入を最大化することは非常に重要です。自動化は、印刷の収益性を維持する上で中心的な役割を果たします。

Cue Print Automationの価値を最大限に活用

Cueで印刷を自動化することにより、重要な収益源である印刷の効率が向上します。自動化機能は既存のCue media enterprise platformに完全かつシームレスに統合されているため、直前の広告差し替えや最新ニュースの更新、セクションレイアウトの変更にも迅速に対応できます。

Cue Print Automationは、既存のCue Printソリューションのネイティブアドオンモジュールとして、ニュースルームのスタッフが日々の業務で新たなテクノロジーを扱うことなく、作業スピードを高め、コストを削減し、デザインチームの手作業を大幅に削減しながらも、お客様が期待する高品質なブランドを支えるデザインルールを損なうことはありません。

コスト削減

印刷ページのデザインと調整のスピードが大幅に向上。

完全に予測可能

ルールベースの自動化アルゴリズムは、実績のある柔軟な設計に基づいて構築されています。

高品質なデザイン

Cueのコンテンツ制作およびデジタル/印刷出版の全体環境に完全統合された印刷物生産ワークフロー。

より迅速な製品イノベーション

カスタム印刷や特別セクションの効率的なスケール調整。

CueにネイティブなPrint Automation

Cue Printは何十年にもわたり、世界中の数多くのニュースルームで選ばれてきた印刷物生産ツールです。Cueはアセット、シェイプ、テンプレート、ページ、エディションを効率的に扱えるよう設計されており、いまでは組み込みのオートメーション機能により効率がさらに向上し、Cueのお客様が印刷ビジネスの収益性を維持できるよう支援します。

Cue Printのワークフローは、お客様の印刷物の自動レイアウトに対応できるよう、すでに設計されています。形状の変更、見出しの拡大縮小、写真のサイズ変更、テキストの調整などが一式のルールに含まれ、すべて、ブランドが定めるデザインのガイドラインと品質基準に準拠しています。Cue Print Automationは、製品ポートフォリオを拡大し、新たなフォーマットを試すための機会を広げます。もしかすると、新しい製品は完全にデジタルな電子ペーパーになるかもしれません。

アルゴリズムとテンプレートに基づき、カテゴリと優先度にレイアウトが適応しながらコンテンツが配置されます。記事の配置のレイアウトは、ユーザーが定義したルールセットに基づいてコンテンツが適応するように自動的に調整され、ページ上の補足的な要素や広告、手動で配置するストーリーの配置も、アルゴリズムによって考慮されます。



ニュースルームへのCue Print Automation導入

1.印刷物生産の自動化によるROIを計算

Stibo DXは、コスト削減の可能性を評価するのに役立つサービスパッケージを提供しています。これにより、組織の目標を明確に計画した上で、印刷自動化ソリューションの導入に着手していただけます。

3.ページへの自動配置のデザインルールを定義

テンプレートの統合が完了すれば、コンテンツをページにどのように自動配置するかを定義できるようになります。優先順位と配置のメタデータを定義し、製品単位で自動適応ルールを選択します

2.印刷物生産テンプレートの一元化と標準化

何十年もの時を経て、印刷ワークフローのライブラリには、おそらく膨大な数のテンプレートが保存されていることでしょう。自動化に備えるうえで、印刷物生産テンプレートの統合と標準化は重要な取り組みです

4.ロールアウトと最適化

Cue Print Automationソリューションは、当社のCue DesignerおよびCue Flatplannerと連携して動作し、小規模から導入を開始して迅速に規模を拡大することが可能です。自動配置された要素は、自動化の実行後にも変更可能で、継続的に新しいルールを追加したり、ルールを改良したりできます。

実装の要件

組織内でCue Print Automationを導入するには、以下の要件を満たす必要があります。

詳細については、カスタマーサクセスマネージャーまたはStibo DXの営業担当者にお問い合わせください。

Cueのバージョン

Bayano以降

ライセンスモデル

Cue用アドオンモジュール（月額料金）

プラットフォームの利用環境

クラウド、オンプレミス、Cue Printのみのセットアップを含む、すべてのCue Printインストール

Podcast Print



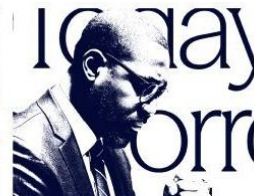
Today's
Media



Print



Where Every
Story Starts



10 day
horror



Video



Tomorrow's
Demands



Cue Print





Cue ePaper

印刷出版社は、何十年にもわたり読者の信頼を得てきました。Cue ePaperは、その信頼をシームレスにデジタル世界へと引き継ぎます。Cue ePaperは、Cue media enterprise platformのネイティブアドオンとして構築されており、既存の印刷ワークフローから直接、デジタル複製版の作成と配信を自動化します。手作業も、サードパーティベンダーも、業務の中断も一切不要です。その結果、現代的でマルチメディアを豊富に活用した読書体験が実現し、印刷版購読者の現在のニーズに寄り添いながら、将来目指すべき姿へと自然に導きます。

シームレスに統合された、将来性の高いePaperソリューションのメリット

コスト削減

自動化により、ePaperの制作における手作業工程が不要になり、運用コストが削減され、編集チームはコンテンツ制作に集中できるようになります。

中断のない効率性

Cue Printにネイティブに組み込まれているため、ePaperの作成には新しいツール、新しいワークフロー、追加のベンダーとの関係は必要ありません。

デジタル版、インタラクティブ広告、厳選された特別商品、バンドル購読モデルは、測定可能な新たな収益機会を生み出します。

より強力なデジタルトランスフォーメーション

Cue ePaperは戦略的な架け橋として機能し、印刷版購読者を、彼らが重視する体験を損なうことなくデジタルプラットフォームへと移行させます。

新たな収益源ズに応えるために構築されたePaper制作

Cue Printは何十年にもわたり、世界中の数多くのニュースルームで選ばれてきた印刷物生産ツールです。アセット、シェイプ、テンプレート、ページ、エディションを効率的に扱うことは、Cueにとってごく自然なことです。そして今、その同じ運用基盤が、完全自動化されたePaper作成の原動力となっています。印刷版が完成するとすぐに、対応するePaperが自動的に生成され、エクスポートされます。人員や外部業者は一切必要ありません。ワークフローは、見出しの拡大縮小や写真のリサイズからテキストの調整まで、あらゆる処理を既に自動で行います。これらはすべて、お客様独自のルールセットに基づいて定義され、ブランドのデザイン基準に準拠しています。Cue ePaperは、この機能をさらに拡張し、マルチメディアフォーマットの統合、追加コンテンツの自動結合、Web、iOS、Android間での柔軟な配信をサポートします。印刷に長い歴史を持つメディア組織にとって、これは、うまく機能している既存の手段に取って代わるものではなく、その取り組みと購読者をデジタルな未来へと引き継ぐための、最も直接的な道筋となります。

Podcast Print

Today's
Media



Print





Cue FreeDesign

統合されたメディアエンタープライズプラットフォームのメリットを享受しつつ、InDesignの持つクリエイティブな自由度も維持したいですか？ Cue FreeDesignは、Adobe InDesignをCue Printに直接フル統合したソリューションです。

Cue FreeDesignでデザインの可能性を最大限に引き出す

納期がシビアな印刷物生産では、ライター、デザイナー、編集者が同時にページを作成・編集できることが重要です。Cue FreeDesignは、Adobe InDesignをネイティブなページデザインツールとしてCue Print環境に直接追加します。その結果、クリエイティブな編集ページ制作のワークフローがよりスムーズかつ機敏になり、Cueのコンテンツ作成およびデジタル／印刷出版ワークフローとの完全な統合が維持されます。

オールInDesign、オールCue

Cue FreeDesignを使用すると、デザイナーはAdobe InDesignで培った経験を企業向けCue Print環境で活用できます。これにより、確立された編集ワークフローを損なうことなく、新しいデザイナーのオンボーディングを迅速化できます。

1つの統合ワークフロー

高度なプラグインを使用することで、Adobe InDesignベースのレイアウト内のすべてのコンテンツ要素に、Cueプラットフォーム上のどこからでもアクセスおよび検索できるようになります。

すべての言語

Cue FreeDesignは、InDesignの業界標準ツールを基盤として、世界中の言語をサポートします。

迅速なオンボーディング

デザイナーに必要な追加トレーニングは最小限で済みます。Adobe InDesignの多くの設定は、Adobeの標準規格に基づいて作成されています。

完全に統合

Cueのコンテンツ制作およびデジタル／印刷出版環境全体に完全統合された印刷物生産ワークフロー。

クリエイティブの自由

デザイナーは、Adobeスイートで培ったデザインスキルを活かしながら、Cueプラットフォームとの安全でダイナミックなコンテンツ接続を維持できます。

Cue FreeDesign

Adobe InDesignのクリエイティブな自由度とCueネイティブコンテンツの融合

柔軟なフリーランスワークフロー

Cue FreeDesignでデザインされたページは、必要に応じて「チェックアウト」と「チェックイン」できるため、たとえばフリーランサーにデザイン作業を任せながらも、バージョン、編集、コンテンツ更新を完全に管理できます。これにより、接続が制限されている環境でもオフラインでのワークフローが可能になります。

ライブページチェック

Cue FreeDesignは、ページを自動的にチェックし、オーバーセット、カラスウォッチ、フォント、図形、ファイル形式などのエラーを検出するライブページチェック機能を提供します。

シームレスな編集と校正

デザインに関するフィードバックや校正は、編集者とデザイナーの双方にとって簡単です。Cue Free Designを使えば、編集者はCue Flatplanner上で直接フィードバックを提供でき、デザイナーはInDesign上で、まさに必要な場所でそのフィードバックを受け取ることができます。すべてが1か所で更新されるため、時間のかかるプロセスが削減され、古いバージョンを使用してしまうリスクを最小限に抑えられます。

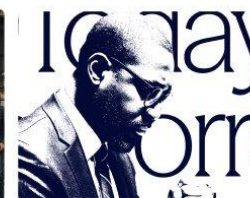
ページノンプルの管理

ページ番号、日付、タイトル／出版物名、セクションなどのスタイルに関する標準を設定します。同時に、Cue FreeDesignは、Cue Flatplannerでセクションやページを並べ替えた場合など、変更が発生した際にページフォリオが自動的に更新されるようにします。

コンテンツクリエイターとページデザイナーのための統合型プラットフォーム

Cue FreeDesignは複数のInDesignバージョンを同時にサポートするため、ソフトウェアのアップデート移行期や異なる製品を使用しているニュースルームに最適です。コンテンツ構造をデザインインターフェースに直接反映させることでナビゲーションを効率化し、コンテンツの概要把握を容易にします。中央のCue FreeDesignパネルにはアセットパッケージが表示され、コンテンツ配置を容易にし、Cue Printデータベースとの同期を確実にします。

Cue FreeDesignは、Adobe InDesignとCue media enterprise platformの間に橋を架けることで、クリエイティブなページデザインと編集コンテンツの制作をより効率的にします。



THE CUE MEDIA ENTERPRISE PLATFORM

Cue Hive

Collaboration. Where newsroom collaboration comes together.

Cue Content Store

Content management. Powering scalable content operations.

Cue Print

Print publishing. Optimizing print operations for tomorrow's demands.

Cue Dam

Digital asset management. Turn every asset into an opportunity.

Cue Autopilot

AI. Empower teams and amplify content output with native, platform-wide AI.

Stibo DX is the company behind Cue, the media enterprise platform built for modern media operations. Cue empowers multimedia hybrids to improve planning, collaboration, and distribution across all formats and channels, integrating workflows to eliminate tool fragmentation and reduce technological overhead. By connecting people, processes, and technology, the platform helps media organizations reduce operational costs, decrease time-to-publish, and scale content delivery across various formats. With extensive media experience, Stibo DX supports media organizations in navigating today's media while preparing for tomorrow's demands.

Stibo DX employs over 200 people and is part of the Stibo Software Group. A foundation-owned corporate entity established in 1794 in Aarhus, Denmark. As part of a stable and forward-looking enterprise group, Stibo DX is committed to building long-term relationships and delivering sustained value to its customers.

Get in touch with us

Have a question or potential project in mind?

Every inquiry will be handled by a team that understands the realities of modern media operations. Our team will respond promptly and guide you to the right next step for your inquiry.

Get in touch here

info@stibodx.com